

令和6年度第3回理事会議案

## 令和7年度事業計画

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで

公益社団法人畜産技術協会

# 令和 7 年度 事業計画

## I 方針

公益社団法人畜産技術協会（以下「協会」という。）は、畜産に関する技術の向上発達、国際協力・国際交流の増進、めん山羊の改良増殖の促進等を通じて、我が国の畜産の健全な発展と国民生活に不可欠な畜産物等の安定供給に寄与する。

令和 7 年度においても、引き続き、効率的な事業展開を図りつつ、会員及び各機関、団体との連携・協力の下に、畜産技術の研究推進・技術開発に関する事業、畜産の技術調査、技術情報収集・提供及び技術者の養成に関する事業、国際交流・畜産技術協力に関する事業、めん山羊振興に関する事業、初生雛鑑別師の養成等に関する事業、畜産技術の発展に寄与した優秀な畜産技術者の表彰を行う表彰事業等の各種事業を実施する。また、国等が公募又は外部発注により実施する事業・業務についても積極的にその受注に努める。

## II 事業計画

令和 7 年度においては次に掲げる各種の事業を行う。

### 1 公益目的事業の実施

#### (1) 研究推進・技術開発に関する事業

大規模黒毛和種ゲノムデータベース (WGDB) をより充実・強化するため新たに和牛 4 品種でのデータベース化を図るとともに、WGDB を活用した未診断疾患の遺伝的原因を効率的に特定する手法の開発のための事業を行う。これらの事業は、(公財) 全国競馬・畜産振興会の助成を受けて実施する。

- ① 和牛 4 品種ゲノムデータベース構築事業：(公財) 全国競馬・畜産振興会助成 (令和 5~7 年度) (国立大学法人東京大学及び国立大学法人琉球大学と共同実施) 7 年度予算額：35,647 千円

黒毛和種の全ゲノムデータ、エクソームデータ、高密度 SNP データ、胎子・子牛・成牛の主要組織の RNA シーケンスデータからなるほぼ全ての変異を網羅する大規模黒毛和種ゲノムデータベース (WGDB) が、前事業までの取組みで概ね完成した。持続的な和牛の生産・育種を行い、消費者ニーズ多様化に対応するため、黒毛和種に加え、地方特定品種である褐毛和種、日本短角種、無角和種の高精度なゲノム情報を取得し、解析することが不可欠である。そこで本事業では、前事業で開発した黒毛和種のゲノムデータベースに新たなデータを追加するとともに、その他の和牛 3 品種を加えた高精度ゲノムデータベースを構築し、各品種の特徴をゲノムレベルで把握するための情報基盤を整備する。

- ② 和牛ゲノムデータ駆動型未診断疾患解明事業：(公財) 全国競馬・畜産振興会助成 (令和 5~7 年度) (代表機関：琉球大学、協会は共同実施) 7 年度予算

額：4,616千円

和牛の臨床現場では、遺伝的要因に加え、様々な環境要因が疾患発症に関与するため、原因の特定が困難な未診断疾患の発生が問題となっている。そこで本事業では、和牛ゲノムデータベースのDNA情報を解析し、疾患の原因となる可能性の高い候補変異を検索後、当該変異を持つ和牛個体で臨床検証することで、未診断疾患の原因変異を特定する。これと並行して、実際の和牛での臨床検証は時間と経費がかかるため、ゲノム編集でマウスに和牛変異を導入して生体検証することで、効率的に未診断疾患の原因変異を特定する。

(2) 技術調査、技術情報収集・提供及び技術者の養成に関する事業

(めん山羊振興関係及び初生雛鑑別師養成関係の事業は別掲)

協会の事業計画の方針に基づき、畜産におけるアニマルウェルフェア(AW)やスマート畜産等の事業のほか、ゲノム育種、飼料生産、衛生管理等の最新の畜産技術に係る広範囲な調査、情報収集に合わせて、研修会・セミナー開催等による畜産技術情報の提供、畜産技術者の養成等の取組を行う。これらの事業は、農林水産省、(公財)全国競馬・畜産振興会、地方競馬全国協会、(公社)中央畜産会等の補助又は助成を受けて実施する。

① 和牛ゲノム選抜手法研修・成果活用推進事業：(公財)全国競馬・畜産振興会助成(令和5~7年度)7年度予算額：46,132千円

国際的に家畜育種改良への活用が急速に進むゲノミック評価の精度向上には、継続的なSNP情報の収集と蓄積が必須となっている。そこで本事業では、和牛のSNP解析研修による道県の研究員の技術水準の向上やSNPデータ蓄積によるゲノム育種価予測式の精度向上を図るとともに、ゲノム育種に関する技術情報をセミナー等で普及啓発し、地域での利用を推進する。また、全国及び地域的な和牛育種改良の高度化・加速化に向け、脂肪酸組成など新たな評価項目や地域ごとの予測式での評価等を検討し、情報検討会を開催して道県研究員間での情報共有、連携強化を図る。

② 持続的生産強化対策事業のうち持続可能性配慮型畜産推進(アニマルウェルフェア配慮型飼養管理推進)：農林水産省補助(令和7年度)7年度予算額：18,400千円(令和7年度応募中)

持続可能性に配慮した家畜の飼養管理への取組を推進するため、本事業では、我が国におけるAWのあり方、今後の的確な対応とその普及・推進等を検討する際に必要となる国際機関や国内外のAWに関する情報のほか、多様な飼養管理形態におけるAW向上に関する科学的知見等を収集するとともに、今後のAWの普及方法等について検討する委員会を開催する。また、生産者、畜産関係者及び消費者等へのAWの理解醸成を図る。

- ③ AWに配慮した乳用牛の飼養管理普及事業：（公財）全国競馬・畜産振興会助成（令和6～7年度）7年度予算額：7,437千円

乳用牛の飼養管理において、AWに配慮した飼養管理の重要性等を認識し、可能なものからすでに実践している飼養者も増加しているものの、AWの考え方を誤解してAWに取り組むことが難しいと考える飼育者も多い。今後の更なるAWの導入と向上を目指すためには、AWの基本的な考え方や従来と異なる管理方法等に関する理解が今後の課題となる。そこで本事業では、AWに配慮した乳用牛の飼養管理に関する情報を収集し、飼養者及び関係者等へのAWの普及・推進を図るため、AWの考え方や対応事例等の情報を提供する。

- ④ ふ化場におけるAW認証制度検討事業：（公財）全国競馬・畜産振興会助成（令和6～7年度）7年度予算額：10,875千円

AWの普及・推進のためには、今後のAW認証制度のあり方等の検討が必要とされている。そこで本事業において、ふ化場をモデルケースとして、AW認証制度や認証に必要な評価項目の検討・作成等に必要な情報を収集するための国内外調査を行い、AW評価項目を作成するとともに、認証制度の必要性や運用等に関する検討を行う。さらに、他畜種への応用等の可能性についての検討を行い、それらを取りまとめた報告書を作成・配布する。

- ⑤ 飼養方式による採卵鶏科学的知見収集事業：（公財）全国競馬・畜産振興会助成（令和7～9年度）7年度予算額：21,155千円（令和7年度応募中）

畜産における飼養方式の違いが生産物へ及ぼす影響については、飼養者のみならず消費者においても関心が強く、関連情報の提供が望まれている。しかし、飼養方式と生産物の関係については調査が進んでおらず科学的知見が不足している。そこで本事業では、飼養方式の違いが顕著な採卵鶏に注目し、飼養方式の違いによる鶏卵の呈味や栄養素の変化等について調査を行うとともに、関係者への情報提供を行う。

- ⑥ 畜産におけるアニマルウェルフェアの消費者向け理解醸成推進事業：地方競馬全国協会補助（令和7～9年度）7年度予算額：34,000千円（令和7年度応募中）

家畜のAWは、畜産における世界的な課題であり、我が国においても、みどりの食料システム戦略に、政府が取り組むべき事項として盛り込まれている。今後、農林水産省が新たに示した畜種別の飼養管理指針等に基づき、AWに配慮した家畜の飼養管理を普及推進するためには、家畜の飼養管理を行う生産者自身の理解はもとより、生産された畜産物を購入する加工流通事業者、小売事業者、消費者など幅広い関係者におけるAWへの理解を進める必要がある。そこで本事業

業では、農林水産省が行う普及啓発を補完して、生産者や消費者のAWに対する理解を深めるため、生産現場向け等の広報資料の作成・配布を行うとともに、幅広い関係者を対象としたシンポジウムの開催やイベント出展等を行う。

- ⑦ 畜産経営体生産性向上対策事業のうち畜産データ活用体制整備事業：農林水産省補助（令和7年度）7年度予算額：240,197千円

畜産経営における労働負担の軽減と経営の効率化が課題となる中、経験や勘に頼るのではなく、データに基づいた合理的な家畜改良や飼養管理を図る必要がある。そこで本事業では、畜産経営における家畜改良及び飼養管理の効率化・高度化に資するため、畜産クラウド全国推進コンソーシアム（事務局：畜産技術協会）を中心に、牛の個体識別情報や飼養管理等に関する生産情報の全国的な集約、畜産経営の改善のために活用する体制を整備する取組等を実施する。

- ⑧ 仮想フェンシング技術海外開発状況調査事業：（公財）全国競馬・畜産振興会助成（令和6～7年度）7年度予算額：18,357千円

仮想（ヴァーチャル）フェンシングは、GPS等を内蔵したネックバンドで家畜の行動を制御して、牧柵なしでも家畜を一定の区域内に留めたり、移動・誘導したりすることが可能な技術で、海外ではすでに実用化され、現場での利用が始まっている。そこで本事業では、今後の国内での活用や利用可能性等を評価するため、国内外での活用実態を調査し、これらの結果を全国の畜産関係者と関係各所へ提供する。

- ⑨ 多頭群飼養のスマホと目視によるICT活用事業：（公財）全国競馬・畜産振興会助成（令和7～8年度）7年度予算額：5,324千円（令和7年度応募中）

我が国の肉用牛経営は大規模化が進み、群飼養が一般的である。大規模経営ではICT機器が省力化のため有効である。ICT機器の使用ではセンサーが検出した個体の目視による現況確認が必要であるが、搾乳のある酪農と違って肉用牛、とりわけ群飼養では、容易ではない。そこで本事業では、現場の作業者がスマートフォンを用いて、手軽に発情、分娩等、また、疾患等の現況を熟練者や獣医師に送信し、遠隔で状況を共有し、助言を受けることができる方法を開発する。

- ⑩ 畜産技術情報収集・提供事業：地方競馬全国協会補助（令和7～9年度）7年度予算額：23,189千円（令和7年度応募中）

近年の畜産を取り巻く激しい情勢の変化に対応するためには、新しい技術の活用とこれまで開発された有用な畜産技術や具体的な取組に関する情報等を収集し、これまで以上に広く提供することが重要になっている。そこで本事業では、有用な畜産技術や具体的な取組に関する情報等を収集するため、取組事例や成

功例の現地調査等を実施し、情報を収集するとともに、将来の生産現場での技術普及・定着に資するため協会に蓄積された情報を「畜産技術」誌やWebサイト等を通じて提供する。また、都道府県畜産技術協会等に補助し、地域情報研修会を開催する。併せて、全国の畜産獣医系大学や農業大学校、農業高校等に「畜産技術」誌を配布して最新の畜産情報を広く発信する。

⑪ 畜産技術誌発行等情報発信事業 7年度予算額：12,015千円

畜産関係者等によって畜産新技術等の利活用が図られることを目的に、畜産技術を中心とする各種の情報を収集整理し、畜産技術（月刊誌）を編集して、会員等に配布（年12回発行、1回約3,000部）する。

⑫ 農場消毒強化技術実用化推進事業：地方競馬全国協会補助（令和6～8年度）  
7年度予算額：34,326千円

農場におけるバイオセキュリティ強化として、物理的障壁に加え、化学的障壁の強化、すなわち、すべての農場で実施されている消毒の強化徹底が重要であり、さらに従来消毒法の効果を高める消毒技術の確立や効果的な消毒法の技術移転が必要とされている。そこで本事業では、農場での利用頻度の高い逆性石鹼をより効果的に使用するために、逆性石鹼とマイクロ水酸化カルシウムとの混合液による新しい消毒法（マイクロMIX法）について、各畜種の農場を対象に効果を検証し、実用化の際の技術的課題の抽出及び解決技術の確立等を検討するとともに、消毒法の手順等を取りまとめたパンフレット等の作成及び配布・配信や講演会等を開催することで畜産関係者に広く消毒法を技術移転することを目指す。

⑬ 家畜疾病拡大影響抑制対策事業：（独）農畜産業振興機構補助：（公社）中央畜産会から補助（令和7年度）7年度予算額：19,240千円

野生イノシシを介した豚熱ウイルスの拡散を防止するため、野生イノシシに対する経口ワクチン散布に要するワクチンを引き続き海外から導入する必要がある。そこで、豚熱経口ワクチン導入全国協議会の事業として経口ワクチンの導入及び保管を行う。

⑭ 飼養衛生管理基準外国人普及推進事業：地方競馬全国協会補助（令和7年度）  
7年度予算額：17,462千円（令和7年度応募中）

世界で鳥インフルエンザや口蹄疫が続発する中、訪日外国人数が急速に増えており、我が国への家畜伝染病の侵入リスクがかつてないほど高まっている。加えて、畜産における外国人の雇用が広がる一方で、実習生の日本語能力が課題とされており、日本語に堪能でない外国人向けの飼養衛生管理の普及啓発資材が必要との声が強い。そこで本事業では、飼養衛生管理ガイドブック（牛編、鶏編、馬編）を畜産分野で多く活躍する外国人の母国語（ベトナム語、インドネシア語）

や共通語である英語に翻訳し、成果物を公開する。

(3) 国際交流・技術協力に関する事業

畜産技術協力を支援するため、畜産技術協力関連情報の提供等を継続実施する。  
(独)国際協力機構(JICA)から業務委託を受け、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門において実施する「開発途上国の家畜衛生に従事する担当者を対象とした家畜疾病診断技術に関する研修会(4カ月間)」の開催事務を行う。7年度予算額:9,503千円

(4) めん山羊振興に関する事業

めん羊及び山羊の飼育の普及促進、登録及び改良増殖並びに生産物の処理普及等を図る事業を行う。これらの事業は、(公財)全国競馬・畜産振興会及び地方競馬全国協会の助成を受けて実施するほか、会費収入及び手数料等を財源として行う。

① めん山羊登録等事業 7年度予算額:10,286千円

優良なめん羊及び山羊の供給を図るため、家畜改良増殖法に基づき農林水産大臣の承認を受けた登録規程により、めん羊及び山羊の飼養者の申請で審査を実施し、審査に合格したもの(血統、能力、又は体型を審査して一定の基準に適合するもの)について、めん羊及び山羊の登録証明書等を交付する。また、めん羊・山羊の出生確認を実施し、確認証を交付する。

② 持続的発展を目指した山羊・めん羊飼養管理推進事業:地方競馬全国協会補助(令和5~7年度)7年度予算額:6,383千円

家畜の生産に係る環境負荷軽減等の展開のための今後の取組として、耕作放棄地の活用を含めた放牧の一層の推進や省力的な放牧技術の開発等が必要とされている。山羊・めん羊は、高い放牧適性等から耕作放棄地の活用に適した家畜であり、生産される畜産物の希少性も相まって、今後の活用が期待されている。そこで本事業では、耕作放棄地等における放牧に必要な飼養管理技術に関する情報や今後の課題等を取りまとめるための調査を実施する。また、山羊食肉文化のある沖縄県等における飼養実態を把握するための調査を実施し、報告書を作成するとともに飼養管理状況の改善に向けた研修会を開催する。

③ 従来から実施してきためん羊・山羊の登録及び出生確認に係る講習会を継続して開催するとともに、めん羊の剪毛技術の向上や国産羊毛の品質改善を図り、普及啓発を行うための剪毛及び原毛選別等に係る技術研修会等の開催、技術情報を収集し機関誌「シープジャパン」を通じ関係者へ提供するほか、「めん羊・山羊技術ハンドブック」等の配布・頒布や、めん羊・山羊の飼育等に係る問合

せに応じるとともに普及のための指導に努める。さらにめん羊・山羊の振興に係るイベント等に対して後援等の支援を行う。

(5) 初生雛鑑別師の養成等に関する事業

初生雛の鑑別師の養成、資格検定及び登録等についての事業を行う。これらの事業は、(公財)全国競馬・畜産振興会の助成を受けて実施するほか、会費収入及び手数料等を財源として行う。

① 養鶏産業に不可欠な初生雛鑑別師として活動することを目指す者に対して、技能検定を実施し、一定水準を越えた者に対し高等鑑別師等の認定を行い、登録証を交付する。7年度予算額：10,888千円

② 雛肛門鑑別師養成・AI鑑別技術調査事業：(公財)全国競馬・畜産振興会助成(令和7～9年度)7年度予算額：39,868千円(令和7年度応募中)

我が国で開発された初生雛の肛門雌雄鑑別法は、世界的に活用されているが、羽毛鑑別ができない原種鶏・種鶏、国産鶏・地鶏の育種や生産においては、肛門鑑別以外の手法はない。また、近年はアニマルウェルフェアへの対応からEU等で卵段階での鑑別技術が開発中で、一部は実用化もされつつあるが、鑑別機器の価格、鑑別率等の問題から、国内利用にはまだ時間を要する。特に我が国の地鶏等の育種においては、小規模な公的機関等が多いことから、卵内鑑別技術の利用自体が極めて困難という課題もある。そこで本事業では、技術進展の過渡期において、確実に鑑別師を育成し技術の維持を図るため、少数精鋭での鑑別師の養成を行いつつ、鑑別師のリタイヤが進む中、時代変化へ対応して高齢な鑑別師でも仕事を継続できるようAIで肛門鑑別を支援する技術の調査を行う。

③ 協会登録の初生雛鑑別師の相互の連携を図るため、情報誌として「日鑑情報」を年2回刊行し配布する。

(6) 表彰事業 7年度予算額：2,130千円

前年度に引き続き、畜産技術の発展に寄与した優秀な畜産技術者等を表彰する。

① 畜産技術の発展に寄与した優秀な畜産技術者について、ホームページへの掲載、関係団体等への連絡により公募を行い、外部有識者からなる表彰審査委員会において表彰者を選定する。この事業は、(一財)日本中央競馬会弘済会と共同実施しており、同弘済会からの分担金及び協会の表彰事業積立金等を財源として実施する。



- ② 初生雛鑑別師等について、鑑別技術の特に優秀な鑑別師や鑑別事業に貢献された鑑別功績者等に対し表彰及び感謝状の贈呈を行う。
- ③ 都道府県等で実施する家畜共進会等畜産の振興に寄与する催事に対し協賛するとともに表彰を行う。

## 2 収益事業等

公益目的事業を実施するための財源を確保するため、出版事業及び事務室等の賃貸を行う不動産管理事業を実施する。

- (1) 出版事業 7年度予算額：7,428千円  
前年度に引き続き、畜産関係者相互の連絡に供するための「全国畜産関係者名簿(2025年度版)」を刊行するほか、畜産関係書籍として「和英・英和畜産用語集」、「牧草・毒草・雑草図鑑(株)全国農村教育協会」等を販売する。
- (2) 不動産管理事業 7年度予算額：40,677千円  
協会が所有する綿羊会館の事務室及び駐車場の貸付け及び管理を行う。
  - ・貸部屋 11室 767.37 m<sup>2</sup>
  - ・駐車場 地下12区画 245.29 m<sup>2</sup>
- (3) その他の事業(相互扶助等) 7年度予算額：2,095千円
  - ① 都道府県の畜産関係研究機関の長で構成される全国畜産関係場所長会、東京管内の畜産関係者で構成している東京都畜産技術連盟及び日本綿羊研究会、ISO規格動物用電子タグ協議会の事務全般を請負実施する。
  - ② 初生雛鑑別師の団体である一般社団法人全日本初生雛鑑別師協会の経理・連絡等の事務を請負実施する。

## 3 会員相互の連携及び組織の強化等

各会員及び関係機関との連携の強化を図るとともに、会誌「畜産技術」、「シーブジャパン」及び「日鑑情報」、催事等を通じて、会員相互の連携及び組織の強化に努める。

令和6年度第3回理事会議案

## 令和7年度収支予算書

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで

公益社団法人畜産技術協会

令和7年度正味財産増減予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公益社団法人畜産技術協会

(単位：円)

名 科 目	会 計 事 業	公益目的事業会計					収 益 事 業 等 会 計					法 人 計	7 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	対 前 年 増 減 額	
		畜産振興等事業 (公1)	出版事業 (収1)	不動産管理 事業(収2)	収益事業 小計	その他 (他1)	小計									
I 一般正味財産増減の部																
1. 経常増減の部																
(1) 経常収益																
受取会費		15,671,000	0	0	0	0	0	0	0	0	2,200,000	17,871,000	18,611,500	▲ 740,500		
1号会員		7,624,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,624,000	7,868,000	▲ 244,000		
2号会員		70,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000	0		
3号会員		5,477,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,477,000	5,973,500	▲ 496,500		
4号会員		2,200,000	0	0	0	0	0	0	0	2,200,000	4,400,000	4,400,000	0			
賛助会員		300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0		
事業収益		19,638,941	7,700,000	40,677,000	48,377,000	2,876,000	51,253,000	0	0	0	70,891,941	72,517,000	▲ 1,625,059			
福山羊登録等事業収益		4,470,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,470,000	4,470,000	0		
初生離乳別事業収益		4,466,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,466,000	4,872,000	▲ 406,000		
不動産事業収益		0	0	40,677,000	40,677,000	0	40,677,000	0	0	0	0	40,677,000	42,181,000	▲ 1,504,000		
出版事業収益		915,000	7,700,000	0	7,700,000	0	7,700,000	0	0	0	0	8,615,000	8,615,000	0		
請負・受託事業収益		9,787,941	0	0	0	2,876,000	2,876,000	0	0	0	0	12,663,941	12,379,000	284,941		
受取補助金等		583,692,671	0	0	0	0	0	0	0	0	0	583,692,671	537,543,871	46,148,800		
受取国庫補助金		258,597,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	258,597,000	248,697,000	9,900,000		
受取民間補助金		325,095,671	0	0	0	0	0	0	0	0	0	325,095,671	288,846,871	36,248,800		
雑収益		1,890,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,890,000	1,888,648	1,352		
受取利息		4,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000	4,000	0		
特許料収益		1,820,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,820,000	1,818,340	1,660		
雑収益		66,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,000	66,308	▲ 308		
経常収益計		620,892,612	7,700,000	40,677,000	48,377,000	2,876,000	51,253,000	2,200,000	0	0	674,345,612	630,561,019	43,784,593			
(2) 経常費用																
事業費		630,566,212	7,428,000	40,117,000	47,545,000	2,095,000	49,640,000	0	0	0	680,206,212	627,155,710	53,050,502			
役員報酬		2,113,930	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,113,930	0	2,113,930		
給料手当		103,101,450	1,200,000	4,765,000	5,965,000	1,274,000	7,239,000	0	0	0	110,340,450	101,396,645	8,943,805			
賞金		2,774,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,774,000	3,274,000	▲ 500,000		
退職給付費用		1,963,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,963,600	1,963,200	400		
会議費		448,428	0	0	0	0	0	0	0	0	0	448,428	469,436	▲ 21,008		
会場借料		7,371,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,371,600	9,397,200	▲ 2,025,600		
旅費交通費		32,774,279	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,774,279	37,295,650	▲ 4,521,371		
通信運搬費		6,641,170	550,000	0	550,000	0	550,000	0	0	550,000	7,191,170	7,453,042	▲ 261,872			
減価償却費		1,356,000	0	4,500,000	4,500,000	0	4,500,000	0	0	4,500,000	5,856,000	5,858,000	▲ 2,000			
ソフト作成・改善費		100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0		
消耗品費		1,703,860	10,000	0	10,000	0	10,000	0	0	10,000	1,713,860	2,351,031	▲ 637,171			
消耗資材費		42,096,170	0	100,000	100,000	0	100,000	0	0	100,000	42,196,170	38,550,480	3,645,690			
技術指導料		6,953,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,953,000	2,528,000	4,425,000		
教材費		9,706,764	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,706,764	8,851,963	854,801		
原稿料		4,824,040	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,824,040	4,719,834	104,206		
廃棄物等処理費		316,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	316,000	666,000	▲ 350,000		
修繕費		0	0	11,500,000	11,500,000	0	11,500,000	0	0	11,500,000	11,500,000	4,000,000	7,500,000			
印刷製本費		17,535,930	5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	0	0	5,000,000	22,535,930	24,967,940	▲ 2,432,010			
光熱水料費		3,222,004	0	917,000	917,000	0	917,000	0	0	917,000	4,139,004	3,095,000	1,044,004			

